

平成27年度 K排水路溢水に関する申し入れ事項（8月18日）ならびに回答

	申し入れの内容	回答
1	溢水を防止するための必要な対策を早急に講じること。	K排水路の排水については暫定的にポンプによりC排水路に移送しているところですが、移送については排水路内の清掃を行いながら、引き続き万全を期していくとともに、今回の事象への対策については、水位変動を見込んだ堰の改造を行う予定です。
2	K排水路の排水先を港湾内へ付け替える工事及び新設排水路について、早期に完了するよう前倒しを検討すること。	K排水路の排水先を港湾内へ付け替える工事ならびに排水路新設工事について、現在、昼夜作業で実施しています。 一部トンネル工事が含まれることから細心の注意を払いながら安全最優先のもと、K排水路付け替えについては平成28年3月未完了、排水路新設については平成27年12月未完了を目標に実施しているところですが、今後も工事の進捗を確認しつつ、工事の前倒しについて、継続して検討・実施します。
3	K排水路に流入する雨水が汚染されることのないよう、汚染源の除去等、必要な対策を徹底して行うこと。	K排水路に流入する雨水が汚染されないための対策として、地表のフェーシングによる土砂流入防止や道路清掃、排水路内の清掃などを計画的に実施します。 また、10m盤の屋根面や周辺敷地からの流入経路を調査・特定して、汚染源撤去等の必要な対策を実施します。 高線量のため直ちに汚染源の撤去ができない箇所は、雨水を汚染源に触れさせない対策などの応急的な方法についても検討を行ってまいります。
4	K排水路における排水の状況をしっかりと把握し、溢水のおそれがある場合には、上流部における汲み上げなど必要な措置を講じること。	K排水路から排水が生じた場合の情報提供については、K排水路付け替え工事完了までの間、台風など大雨時の一部排水を想定し準備を進めてきましたが、7月下旬からは、短時間の集中豪雨時にK排水路から一部排水の可能性が生じた場合についても、事後可能な限り速やかに情報提供する運用に見直しています。 また、付け替え工事完了までの設備面の対応として、既設の排水ポンプ制御盤監視カメラに加え、K排水路流水監視カメラ及び照明の追加設置を8月6日までに終えており、監視体制の強化について試運用等準備をしっかりと行い8月中に本運用に入ることとし、さらには9月中旬を目標にK排水路の8号ポンプ（最終段のポンプ）起動時に免震重要棟に警報を発報するシステムを構築することで、状況把握の強化を図っていく予定です。 なお、上流部における汲み上げについては、増設設備の工事期間を想定すると増設完了時期はK排水路の付替完了の目標時期とほぼ同時期になってしまうことから、付替工事に専念し注力してまいります。

申し入れの内容	回答
<p>5 海域のモニタリングにより、環境への影響を把握するとともに、県民に対して分かりやすく情報提供すること。</p>	<p>海域のモニタリングについては、1回/週の頻度で発電所の港湾外を、また港湾内については毎日海水を採取し、発電所港湾内に排水される水の影響を把握しています。</p> <p>また、港湾口に設置した海水放射線モニタにて、常時海洋の放射能濃度（セシウム及び全β放射能）の監視を行っています。</p> <p>以上の港湾内外、港湾口等におけるモニタリング結果に加えて、K排水路および南放水口付近（T-2-1、T-2）、A、C排水路について、日々、当社HP等で公開しています。</p> <p>また、これらのモニタリングにおいて、異常が確認された場合には会見や当社HPを通じて速やかに情報提供する。各モニタリング結果については、当社HP（以下のURL）で公開しています。</p> <p>（モニタリング結果） http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html 毎月末には「放射線データの概要」にて、当月分の海水、排水路、地下水等の状況をトレンドグラフでお示しし概要を会見で説明しており、当社HPにて公開しています。</p> <p>（放射線データの概要） http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/disclosure/index-j.html</p> <p>引き続き、丁寧な情報提供に努めてまいります。</p>